

## 平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 7 日（土）

開会：午後 7 時 30 分 閉会：午後 8 時 19 分

場所：城山 1 丁目集会所

参加者：男 26 人、女 13 人 計 39 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

### 《 懇 談 》

女性 私は男女共同参画に携わっているんですが町のいろいろな審議員の女性の割合は 3 割を目標にしているけど少しずつ上がってきているんですが、公募枠が増えないというのが女性の参画がなかなか増えない一因かと思います。町民の人が興味を持って審議員になりたいと思ったらなれるような環境にしてほしいです。

町長 最近で申し訳ないのですが、公募枠をとるようにしています。ただし女性が来るとは限らないんです。実は委員会の女性率が 3 割を超えない理由は、自治会長さんが入っている場合が多く、自治会長さんは全員男なんです。自治会長さんで女性が出てきてもらえればもう少し上がるのかなと思うのですが、早く 3 割になるようにみんなでがんばりたいと思います。当然女性の意見がなければこの町はだめになってしまうと思うので、よろしくをお願いします。

男性 資料に公共施設の建設時期が載っていますが、これは、いつ建て替えるんですか。

財政課長 概ね耐用年数は 50 年ですので、それを過ぎてから様子を見て建て替えになるかと思っています。現在は東員第一中学校だけですが、今後建て替えが必要になる建物も増えるかと思っていますので、今年度の公共施設維持管理計画の中で将来の計画を考えていきたいと思っています。

男性 将来的には小学校中学校は統合する形になるのでしょうか。

町長 まだそこまでは議論が進んでいませんが、直近の課題は一中なんです。50 年超えてますからあと 1, 2 年でどのように建てかえるか決めないといけません。学校の適正化委員会の結論が出たら、すぐにでも取り掛かり長くとも 7~8 年の間に建て替えないと、危ないですから。順次建て替えないといけないんですが、統廃合のことはまだ出ていません。複式学級になると考えないといけないですが、城山小学校でもぎりぎりもっています。

男性 以前、城山1丁目だけ一中に行けという計画もあったんですよね。それについてはどうでしょうか。

町長 私は初めて聞きましたし、分かれているので今はそういうことはないと思います。

男性 資料には将来の不安ばかり書かれているので、医療とか保育とか町のいいところをもっとPRしてもいいのではないかと。もっとそういうことを発信することを考えてください。

町長 東員町はPR下手だといわれていますが、子育てに関しては県で一番だと思っています。あと保健環境研究所のデータでは、男性の健康寿命の平均が高いんです。これはいろんなところで生きがいを持って活躍してもらっているからだと思っています。こういうことも本来でしたらPRしていかないといけないと思っています。医療については、病院のベッドに空きがない状態ですので在宅医療のほうにシフトしていかなければならないのですが時間がかかります。でその方向にシフトしていきますとしか言えず、できるだけ健康で長生きしてもらうようなまちづくりをしていかないといけないと思っています。

男性 ネオポリスはベッドタウンですので在来とはあまり関わりがありません。農業をするといわれてもぴんときません。我々団地の人間が町づくりのために何をしたらいいか方向性を見せてほしい。

町長 例えば、農業の話ならふれあい農園で笹尾城山地区の方が農業をされています。農業もそうですが、いろんなところで笹尾城山地区の皆さんと在来の皆さんでは、交流が進んでいると思っています。一緒になってやれることがあると思っています。

女性 障害者福祉に関して話が出てこなかったのが非常に残念で、高齢化で手が回らないでしょうし、なおざりにされている感覚があります。障害のある子どもを持つ親としては、自分亡き後子どもたちをどうやって育てていくのか漠然とした不安を感じています。

町長 障がい者の皆さんのいわゆる親亡き後はしっかり考えていかなければと思います。この4月から、農福連携という、障がい者の皆さんに農業で稼いでもらうという取り組みを始めました。そこで働くなら、保険も加入して一ヶ月最低10万円以上になる働き方を始めました。また、町内の企業をまわって、障がい者の働く場所、場所よりも条件を作ってほしいという話をしてきたんです。すると企業は制限はしていないというんです。問題は福祉施設なり、あえていうなら保護者の皆さんができないと壁を

つくってしまうからなんです。ちゃんと働ける場所を作っていくのは、我々の責任だと思いますので、これからは一般就労で普通の生活ができる道を開くことをしていきたいと思います。

男性

東員町が残る道は教育で、語学だと思います。言語は色々ありますが、小学校、幼稚園から教えていく方針を考えてみてください。その子たちが大きくなって有名になったという話を聞きたいと思いますので。東員町の役場には語学のできる人はいますか。語学のできる人間形成は大事です。これはお答えいただかなくて結構です。